

令和5年4月28日
報道関係者 各位

令和5年4月28日
【照会先】 秋田労働局健康安全課
課長 北林 浩之
産業安全専門官 山谷 博樹
(電話) 018-862-6683

令和4年の労働災害発生件数が確定しました

～死傷者数は3,117人で前年より1,897人増加、昭和55年以来の3,000人超え～

秋田労働局（局長 川口秀人）は、令和4年（1月～12月）の労働災害発生状況をまとめました。概要は次のとおりです。

（概要）

1 死傷者数が大幅に増加

令和4年に秋田県内において労働災害により4日以上休業した労働者数（以下「死傷者数」という。）は3,117人で、令和3年（以下「前年」という。）と比較して1,897人増、155.5%の増加となりました。《資料1》

死傷者数が3,000人を超えるのは、昭和55年以来42年ぶりです。

主要業種別では、保健衛生業が1,801人と最も多く、次いで製造業の321人、建設業の304人、商業の256人となっています。

令和4年の死傷者数を前年と比較すると、主要業種のほとんどで前年より増加し、保健衛生業が741.6%増、製造業が47.2%増、建設業が33.9%増、接客娯楽業が21.2%増となりました。減少したのは林業の13.5%減などわずかです。《資料2》

死傷者数が大幅に増加したのは、職場内の新型コロナウイルス感染（以下「新型コロナ」という。）によるものであり、その死傷者数は1,962人にのぼっています。

1,962人のうち保健衛生業における死傷者数は1,631人で、病院や社会福祉施設などでのクラスターの発生により、一度に多数の労働者が感染するケースが多くみられました。

新型コロナを除き、事故の型別にみて死傷者数が多いのは、転倒災害の373人（前年比+27人）、墜落・転落災害の207人（前年比+13人）、腰痛や捻挫等を含む動作の反動・無理な動作による災害の132人（前年比+2人）、機械などへのはさまれ・巻き込まれ災害の104人（前年比▲5人）であり、この順位は前年と変わりません。《資料3-1、3-2》

2 死亡者数は14人となり、平成30年以來の2桁

労働災害による死亡者数（死傷者数の内数。以下同じ。）は14人で、昨年の7人から倍増となりました。死亡者数が10人を上回ったのは、平成30年以來です。

業種別の死亡者数では、建設業が8人、製造業が2人、林業が2人、商業、清掃・と畜業がそれぞれ1人となっています。

建設業では屋根やはしご、足場など高所からの墜落災害が多く発生しています。

《資料4》



【添付】

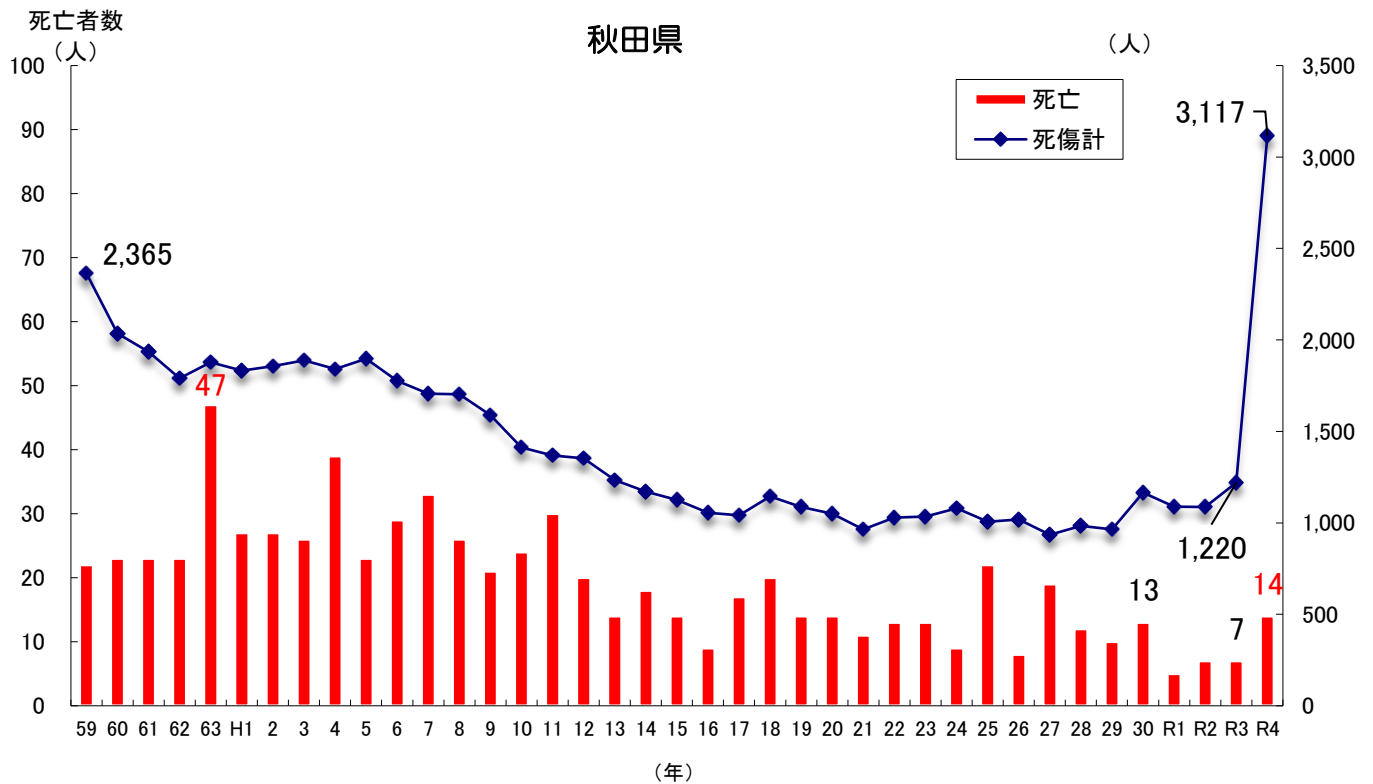
資料1 「労働災害発生件数の推移」

資料2 「令和4年労働災害発生状況（確定）」

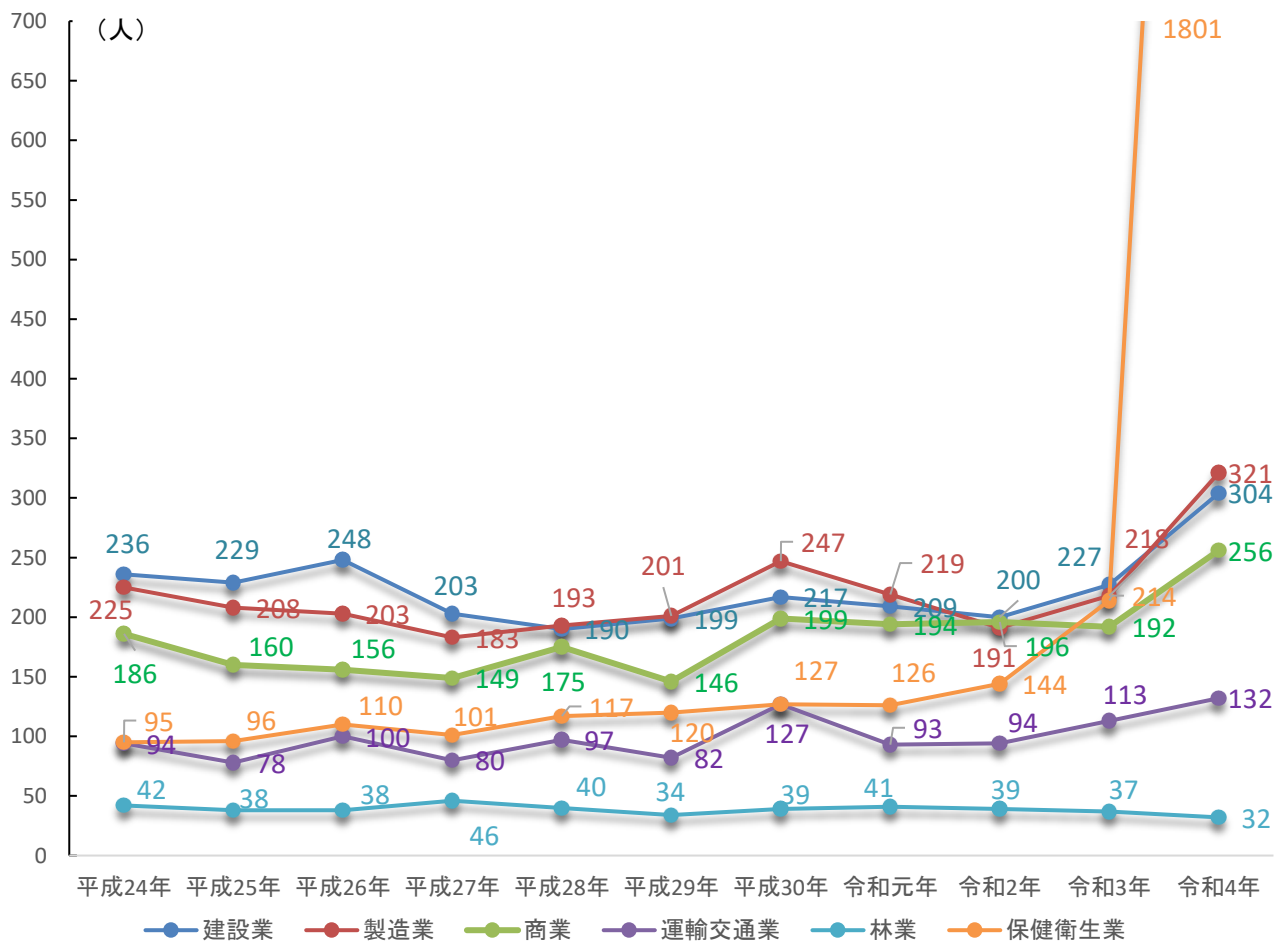
資料3-1、3-2 「事故の型・業種別労働災害発生状況等」

資料4 「令和4年死亡災害発生状況」（確定）

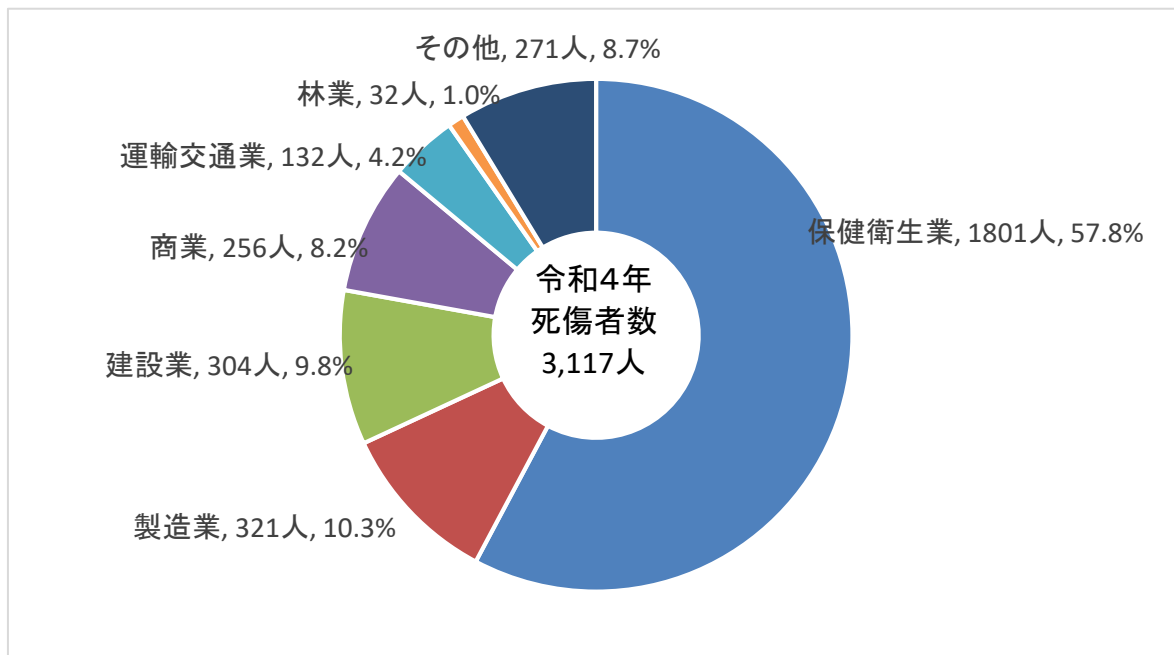
1 労働災害発生状況（昭和59年～令和4年）



2 主要業種別発生状況（平成24年～令和4年）



3 令和4年 業種別発生数、割合



令和4年労働災害発生状況

(確定値)

秋田労働局
(令和5年4月10日作成)

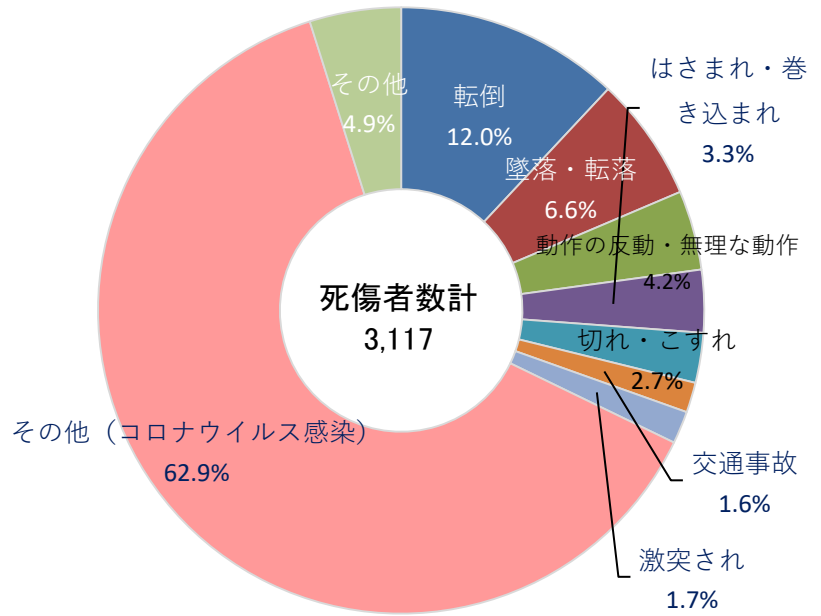
資料2

号別	業種別	年別		令和3年		令和4年		前年増減		秋田署		能代署		大館署		横手署		大曲署		本荘署													
		令和2年 (確定値)		令和3年 (確定値)		令和3年 月～確定値		令和4年 月～確定値		前年増減		3年		4年		3年		4年		3年		4年											
		死	休業4 日以上	死	休業4 日以上	死	休業4 日以上	死	休業4 日以上	件	百分率	死	休業4 日以上	死	休業4 日以上	死	休業4 日以上	死	休業4 日以上	死	休業4 日以上	死	休業4 日以上										
1~17	全業種合計	7	1087	7	1220	7	1220	14	3117	1,897	155.5	489	4	1022	3	80	1	341	1	218	3	430	1	170	3	386	1	160	3	351	1	103	587
	うち新型コロナを除く	7	1087	7	1120	7	1120	14	1155	35	3.1	412	4	412	3	80	1	102	1	212	3	212	1	167	3	163	1	146	3	153	1	103	113
	うち新型コロナによる				100		100		1962	1,862	1862.0	77		610				239		6		218		3		223		14		198		474	
1	製造業	1	191	2	218	2	218	2	321	103	47.2	76		82	1	18	1	34		40		58		32	1	88		29		35	1	23	24
	食品製造業	1	52		57		57	1	85	28	49.1	20		43		4		11		10		13		10	1	10		10		7		3	1
	木材・木製品製造業		39	1	43	1	43		30	-13	-30.2	14		3	1	4		3		11		12		5		5		7		4		2	3
	鉄鋼・非鉄・金属製品製造業		30		37		37		32	-5	-13.5	18		8		3		4		5		4		2		2		2		6		7	8
	一般・輸送用機械器具製造業		14		20		20		38	18	90.0	4		4		1		8		7		8		5		13		2		2		1	3
	電気機械器具製造業		7		14		14		23	9	64.3	3		3		1							4		15				1		6	4	
	上記以外の製造業		49	1	47	1	47	1	113	66	140.4	17		21		5	1	8		7		21		6		43		8		15	1	4	5
2	鉱業(鉱山法適用を除く)		2		3		3			-3	-100.0	1								1								1					
3	建設業	2	200	4	227	4	227	8	304	77	33.9	71	3	78	2	11		19		56	2	55	1	39	1	45	1	31	2	60		19	47
	土木工事業	1	78		73		73	3	119	46	63.0	27	1	21		3		4		20	1	20		12		22		3	1	31		8	21
	建築工事業		101	3	123	3	123	3	117	-6	-4.9	26	1	29	1	4		6		31	1	32	1	25		16	1	27	1	25		10	9
	鉄骨・鉄筋家屋建築		16		18		18		12	-6	-33.3	3		2						6		6		4		1		2		2		3	1
	木造家屋建築		63	3	77	3	77	3	78	1	1.3	13	1	17	1	2		3		22	1	20	1	16		12	1	19	1	19		5	7
	その他の建設業	1	21	1	31	1	31	2	68	37	119.4	18	1	28	1	4		9		5		3		2	1	7		1		4		1	17
4	運輸交通業	1	94		113		113		132	19	16.8	65		51		5		11		12		14		19		28		7		18		5	10
	道路貨物運送業		84		95		95		97	2	2.1	50		44		5		10		11		12		17		9		7		12		5	10
5	貨物取扱業		1		1		1		2	1	100.0	1		1				1															
6-2	林業	3	39	1	37	1	37	2	32	-5	-13.5	2		2		2		4	1	10	1	8		7	1	8		7		4		9	6
8	商業		196		192		192	1	256	64	33.3	84	1	106		18		30		24		38		21		30		24		25		21	27
	小売業		173		161		161	1	204	43	26.7	66	1	80		13		29		20		23		17		23		24		23		21	26
13	保健衛生業		144		214		214		1801	1,587	741.6	104		557		15		224		34		226		25		162		23		178		13	454
	社会福祉施設		109		154		154		1052	898	583.1	66		334		13		45		29		155		17		130		18		128		11	260
14	接客娯楽業		60		52		52		63	11	21.2	22		32		1		7		10		6		8		8		9		6		2	4
	飲食店		20		26		26		32	6	23.1	15		20				4		3		1		4		1		2		3		2	3
15	清掃・と畜業		51		32		32	1	35	3	9.4	18		19				3		10		6		2		2			1	4		2	1
	上記以外の事業 6-1、7、9~12、16、17		109		131		131		171	40	30.5	45		94		10		8		21		19		17		15		29		21		9	14

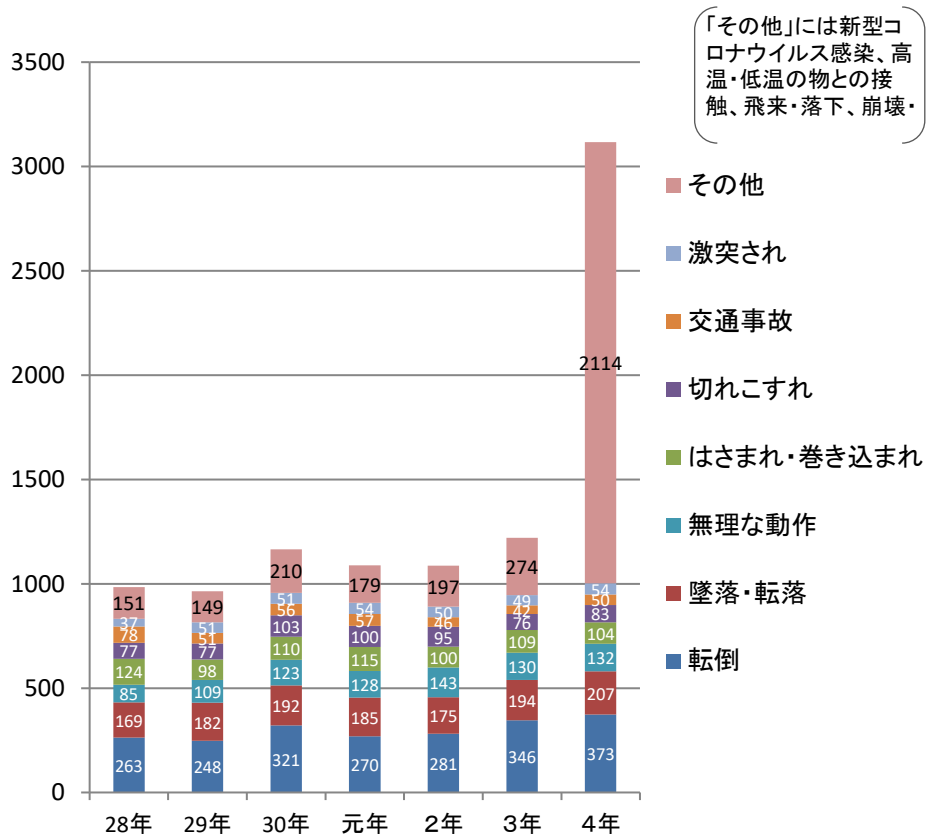
労働者死傷病報告(休業4日以上)を集計したもの。死亡は内数。

令和4年 事故の型別労働災害発生状況

事故の型別	4年
転倒	373
墜落・転落	207
動作の反動・無理な動作	132
はさまれ・巻き込まれ	104
切れこすれ	83
交通事故	50
激突され	54
その他(コロナウイルス感染)	1962
その他	152
合計	3117

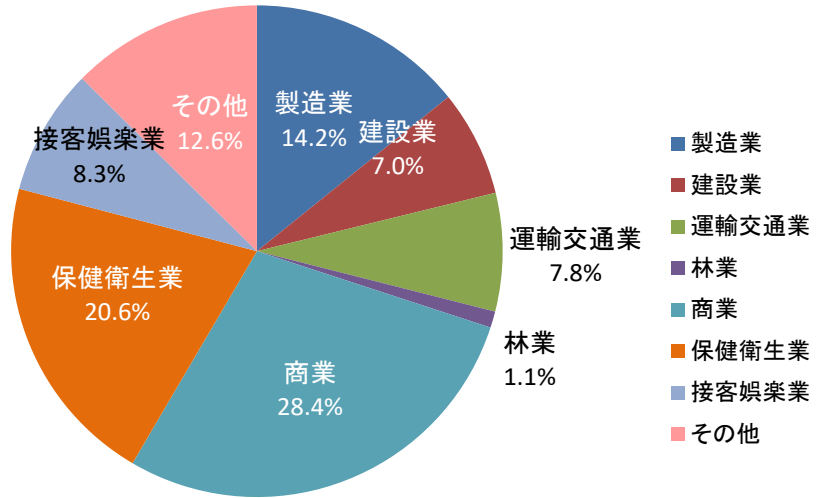


事故の型別労働災害発生状況の推移 (平成28年～令和4年)

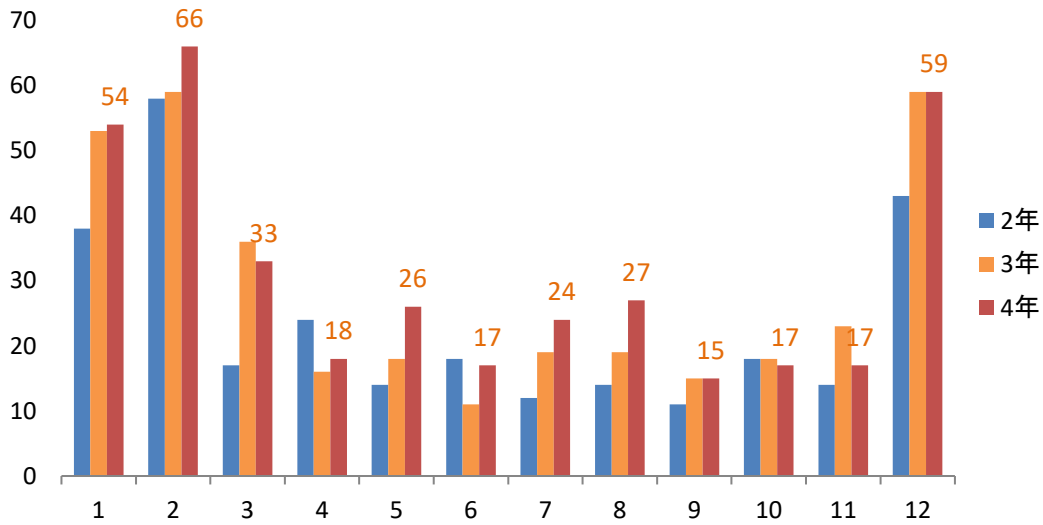


令和4年 主要業種別 転倒災害発生状況

製造業	53
建設業	26
運輸交通業	29
林業	4
商業	106
保健衛生業	77
接客娯楽業	31
その他	47
合計	373



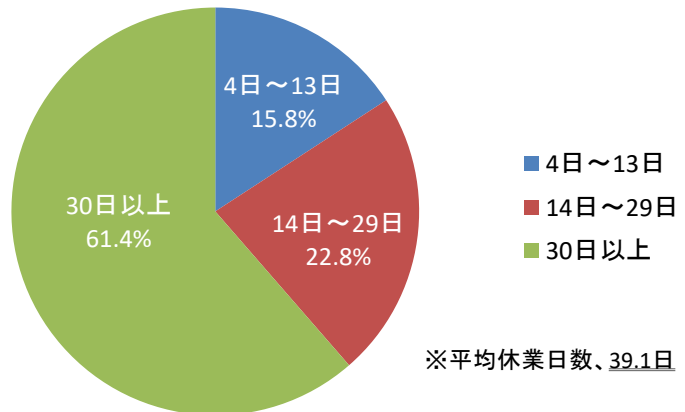
転倒災害 発生月別推移 (令和2年~令和4年)



令和4年 転倒災害の休業日数

4日~13日	59
14日~29日	85
30日以上	229
合計	373

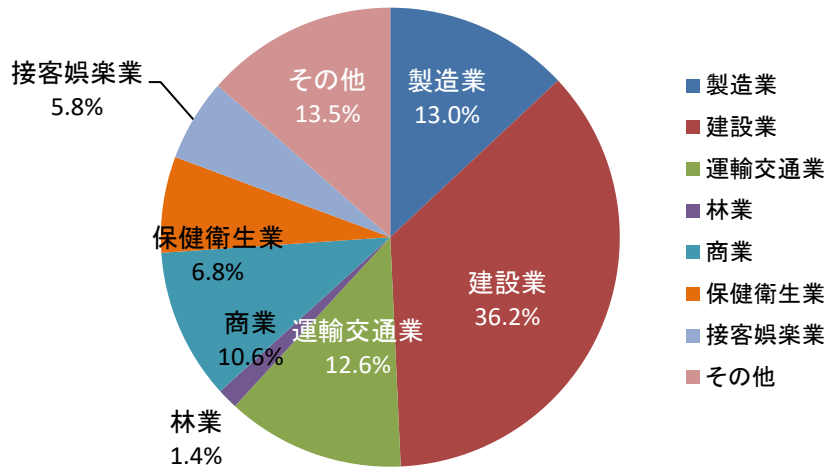
※1人死亡により外数



※平均休業日数、39.1日

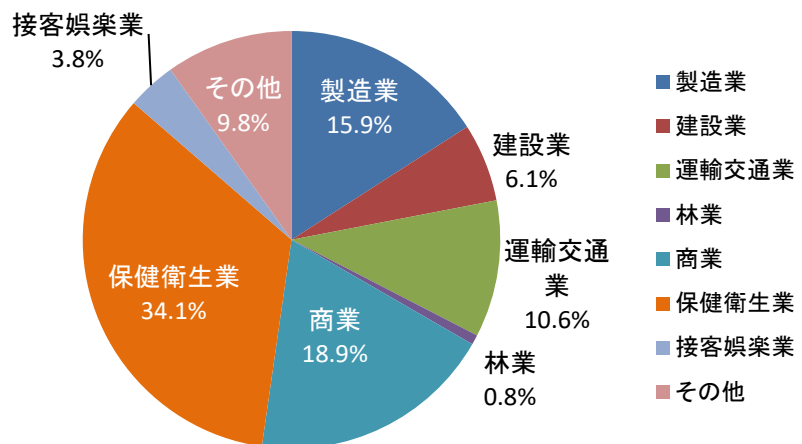
令和4年 主要業種別 墜落・転落災害発生状況

製造業	27
建設業	75
運輸交通業	26
林業	3
商業	22
保健衛生業	14
接客娯楽業	12
その他	28
合計	207



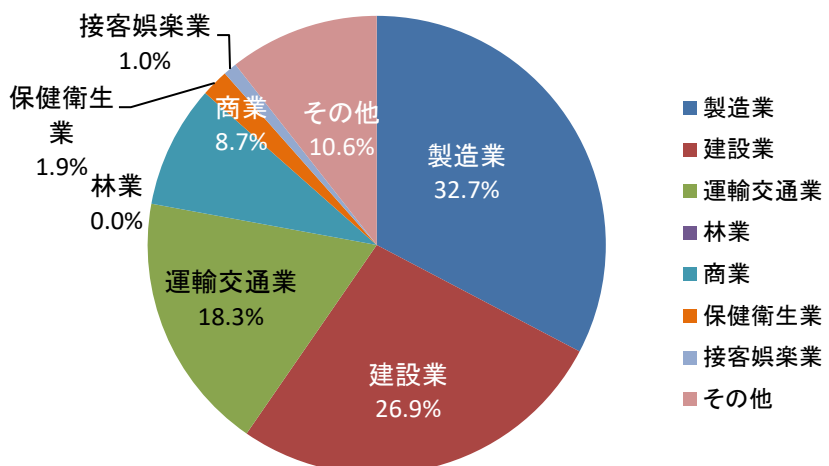
令和4年 主要業種別 動作の反動・無理な動作災害発生状況

製造業	21
建設業	8
運輸交通業	14
林業	1
商業	25
保健衛生業	45
接客娯楽業	5
その他	13
合計	132

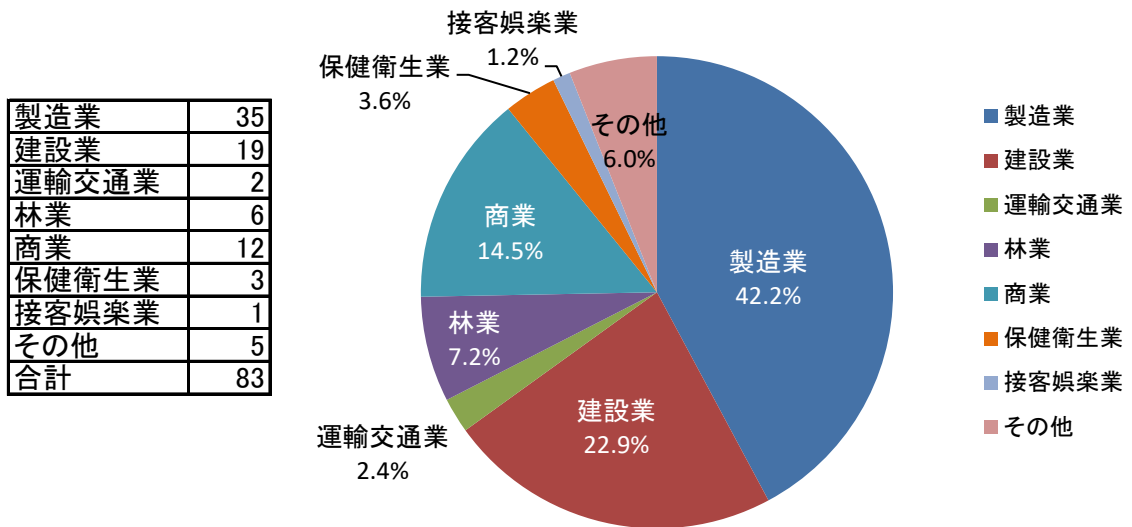


令和4年 主要業種別 はさまれ・巻き込まれ災害発生状況

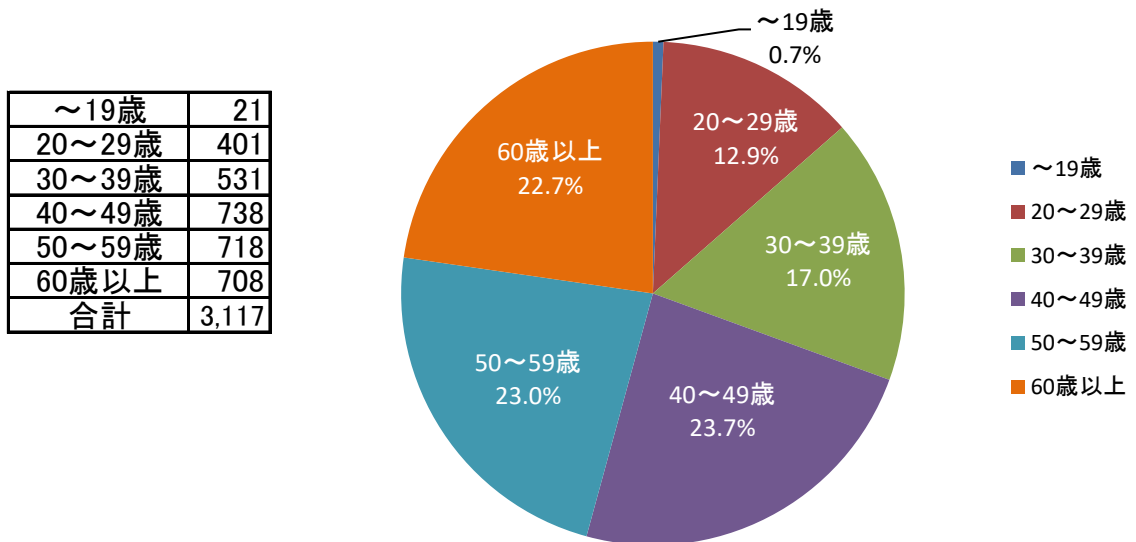
製造業	34
建設業	28
運輸交通業	19
林業	0
商業	9
保健衛生業	2
接客娯楽業	1
その他	11
合計	104



令和4年 主要業種別 切れ・こすれ災害発生状況



令和4年 被災年齢別発生状況（全業種）



No	署別	発生日	業種名	年齢 経 験 (○年以上 ○年未満)	事故の型	起因物	発 生 状 況
1	横手	1月	木材伐出業 (6-2-1)	50歳代 (1年未満)	激突され	立木等	杉の間伐作業において、被災者は伐倒前作業として「杉立木周辺の除雪作業」を行っていた。被災者が作業していた箇所から沢を挟んだ反対側の斜面で同僚労働者が杉立木（直径55cm、長さ34.5m）をチェーンソーで伐倒したところ、伐倒方向がずれ、被災者に直撃した。
2	能代	3月	その他の化学工業 (1-8-9)	60歳代 (30～40年)	交通事故 (道路)	乗用車、バス、 バイク	業務のため乗用車を運転し、高速自動車道の片側一車線区間を走行中、対向車線に進入し、対向車と衝突した。
3	秋田	5月	電気通信工 事業 (3-3-1)	50歳代 (10～20年)	はさまれ、 巻き込まれ	高所作業車	電気通信工事において、約3度の勾配の公道上に停止した高所作業車の後方で、被災者がアウトリガーを格納しようとしたところ、高所作業車が逸走（後退）し、高所作業車後部と民家のブロック塀との間にはさまれた。
4	大館	6月	木材伐出業 (6-2-1)	70歳代 (10～20年)	飛来、落下	伐木等機械	杉の皆伐作業において、被災者が杉立木を伐倒しようとしたが、倒れなかったため、同僚が木材グラブ機を運転操作し、既に伐倒した杉丸太を掴み持ち上げ、その先端寄りの側面で杉立木を押し倒そうとしたところ、掴んでいた杉丸太が落下し、真下にて伐倒方向の合図を行っていた被災者に当たった。
5	大曲	7月	木造家屋建 築工事業 (3-2-2)	70歳代 (60～70年)	墜落・転落	用具	作業小屋の屋根の修理箇所を事前に確認するため、軒先に二連はしごをかけ、同僚がその下部を押さえ、被災者がはしごをのぼり下部から上部に移動したところ、上下連結部分のロック金具が外れていたため、はしごの上部が下方にスライドし、被災者が地面に墜落した。
6	秋田	7月	新聞販売業 (8-2-5)	50歳代 (5～10年)	交通事故 (道路)	乗用車、バス、 バイク	新聞配達業務を終え、原付バイクを運転して事業場に戻るため、市道交差点を直進中、左側から交差点に進入してきた乗用車と衝突した。
7	大曲	8月	その他土木 工事業 (3-1-99)	50歳代 (5～10年)	高温・低温 の物との 接触	高温・低温環 境	田圃の草刈作業を同僚とともに行っていた被災者が午後1時頃、草刈機を持ったまま倒れているところを同僚に発見された。被災者は雨合羽を着用しており、高温環境下、熱中症を発症したものと推定される。
8	大館	8月	道路建設工 事業 (3-1-6)	70歳代 (30～40年)	交通事故 (道路)	トラック	道路補修工事において、他の作業員とともに当日の作業終了後の片付作業を行っていたはずの被災者が、作業の途中、単独で道路の中央線の仮ライン引き作業を行い、その際道路を走行してきたトラックに衝突された。
9	大館	8月	木造家屋建 築工事業 (3-2-2)	70歳代 (20～30年)	墜落・転落	足場	住宅の外壁等塗装工事において、一側足場上で二階の窓の養生作業を行っていたところ、約4.6m下のアスファルト舗装地面に墜落した。

No	署別	発生月	業種名	年齢 経 験 (○年以上 ○年未満)	事故の型	起因物	発 生 状 況
10	秋田	9月	港湾海岸工 事業 (3-1-11)	30歳代 (1~5年)	交通事故 (その他)	その他の乗物	被災者は、港湾海岸工事現場に向かうため、クレーン船から横付けし固定している船（押し船）に降り、その後同僚が乗っている別の船（作業船）に乗り込み、操船を交代して現場に向かおうとしたところ、作業船が急に前進しクレーン船と押し船に接触して転覆し、同僚とともに落水した（同僚は救助された。）。
11	大曲	9月	産業廃棄物 処理業 (15-1-2)	40歳代 (1年未満)	墜落、転落	混合機、粉碎 機	産業廃棄物処理施設において、解体用つかみ機を運転操作して木材破砕機に木材を投入していた被災者が行方不明となり、木材破砕機及びその周辺から被災者の身体の一部が発見されたことから、被災者が何らかの原因により木材破砕機のホッパーに転落したものの。
12	横手	10月	パン、菓子 製造業 (01-01-04)	60歳代 (10~20年)	はさまれ、 巻き込ま れ	エレベータ ー、リフト	被災者が、チェーンホイストを用いた荷物用エレベーターで2階の資材等を1階に下ろそうとしたが、搬器の観音開きの扉の片側が2階床に引っ掛かり停止したため、その扉を木槌で叩いて外したところ、ホイストのチェーンが緩んでいたことから搬器が下がり、左半身が搬器と2階床の間に挟まれた。
13	秋田	10月	木造家屋建 築工事業 (3-2-2)	70歳代 (50~60年)	墜落、転落	屋根、はり、 もや、けた、 合掌	工場の屋根改修工事において、屋根の端で、手工具を用いて既存の屋根の下に新しい屋根材を押し込む作業を行っていたところ、バランスをくずし、コンクリート地面に墜落した。
14	横手	12月	電気通信工 事業 (3-3-1)	20歳代 (1~5年)	交通事故 (道路)	トラック	作業を終了し、事務所に戻るため県道をトラックで走行中、対向車線の路肩を超えて道路を逸脱し、道路脇の立木に激突。運転者が死亡し、助手席の同乗者が負傷した。